

ヒルタウンに輝く年末恒例のクリスマスツリー。
11月30日から12月25日まで中庭の夜を美しく彩る

皆さんを見守る中、飛び入り参加してリズムよく杵を振るう親子



師走に高々 杵の音 もち米6升 みんなで つく

コロナ禍での中止をはさんで昨年、5年ぶりに復活した餅つき大会。今年は12月7日、管理棟プレールームでにぎやかに行われました。

一般家庭ではすっかり見られなくなってしまった餅つき。

町内会での行事として行っているところもありなく、子どもたちにとってうれしいイベントです。

この日、5回に分けてつき上げられたもち米は6升（9キログラム）。南平岸の福屋菓子舗でむしてもらい、平岸小学校から借りた臼と大小3本の杵（きね）を使ってつき上げられました。

町内会の役員に、多くの家族連れが加わって次々と入れ替わりながら、杵を振るいました。

つき上がった餅は、あんこ、きな粉、ゴマをまぶして丸餅に。雑煮も用意されており、参加した皆さんはそれぞれ好みの餅を笑顔でほおばっていました。



(1)



防災訓練 64人が“避難”

年に1度のヒルタウン防災訓練が9月21日に行われました。

午前9時55分、ヒルタウン自衛防災隊の樋口正幸隊長が、管理事務所のインターホンを通じて全館に「防災訓練 防災訓練 入居者は至急避難してください」と呼びかけ。やがて、各棟から入居者の皆さんが続々と“避難”し、64人がC棟2の玄関前に集合しました=写真=。

このあと、会場を管理棟のプレールームに移し、30年前に起きた阪神・淡路大震災の映像を視聴。参加した皆さんには、札幌で直下型地震が起きた際の心構えなどをあらためて心に刻みました。

自衛防災隊には災害時に活動する「お助け隊」



が組織されており、本年度の隊員は男性11人、女性12人の計23人。このうち、9人の隊員が最後に皆さんの中に立って紹介され、激励を受けました。



災害時に想定される「一人分のスペース」を確認する参加者
（下の煙が充満した中をくぐり抜ける「煙道体験」）



南平岸地区町内会連合会主催の防災フェアが8月23日、陵陽中学校で行われました。

「もしも」に備えた避難所体験をしてもらうのが狙いで、ヒルタウン平岸町内会の樋口正幸会長がリーダー、向出五郎副会長が副リーダーとなり、進行されました。

約100人が参加し、まず避難所での受け付けと、「一人分のスペース」確保を体験。アルミ製シートを受け取り、座り心地を確かめました。

火災発生を想定した「煙道体験」では、長さ7㍍の遮蔽幕の中へ。人体に影響のない煙で充満しており、中は真っ暗。参加者たちは口→



→を押さえ、一気に“脱出”しました。災害時の簡易トイレは、ビニール袋をかぶせ、その中に用を足した後、凝固剤

陵陽中で防災フェア

を入れて固めます。担当者が実際に凝固剤を使ってゼリー状に固まる様子を見せていました。

防災運動会では、小中学生がヘルメットをかぶり、網をくぐって飛び箱、マットの上を歩き、吊るしてあるお菓子を取るという趣向。元気な声が響き渡っていました。

仮想的な映像を見せる「AR技術」を使った浸水体験コーナーでは、ゴーグルを付けてかがむと、自分自身が渦流の中にいるような感覚となり、災害時の怖さを疑似体験できました。

防災クイズや、非常食の展示コーナーもあり、参加者たちは楽しみながら学んでいました。

災害時に重要な簡易トイレの説明に聞き入る参加者

災害への備え 楽しく学ぶ

りんご・梨…余市へフルーツ狩り

秋恒例の町内会遠足・フルーツ狩りが9月13日、余市町のニトリ観光果樹園に出かけて行かれました。

子どもさん2人を含む25人が参加。大型観光バスでヒルタウンを出発し、同果樹園へ。

園内にはりんご、梨、ぶどう、プラムなどが「どうぞたくさん食べてちょうだい」と言わんばかりに実っており、皆さんは好みの果物を求めてそれぞれの木の下へ。

ぶどうの木の所では、家族連れの皆さんが一粒ずつ口に入れては、そのおいしさを味わい、フルーツ狩りのだいご味を楽しんでいました。

このあと、サクランボの木の下でジンギスカンの昼食。焼き上がったばかりのラム肉をほおばりながら、ビールでノドを潤す大人の皆さんもいました。

腹ごしらえした皆さんは、赤井川村のカルデラ温泉へ。じっくり温泉につかり、余市にユーターンして道の駅へ。買い物も楽しみました。



⑤お父さんにだっこされて、たわわに実ったぶどうを手にする子どもさん⑥サクランボの木の下でジンギスカン鍋を囲む皆さん=いずれもカメラ同好会・芥川泰子さん撮影



タウンウォーク 1万4000歩

春から秋にかけて月に1度、札幌市内の各地を巡るヒルタウン住民によるタウンウォーク。今年最後となった10月31日は、幹事の伊庭仁さんら6人が参加、紅葉が美し

い北大入り口（北13条）のイチョウ並木=写真、秋山一彦さん撮影=、札幌競馬場、二十四軒付近などを巡り、1万4000歩、11th余りを元気に歩き通しました。

タウンウォークは2011年10月に西岡公園コースを回ったのが始まり。その後、冬期間を除いて月に一度の「歩き」を楽しみ、10月31日は通算82回目でした。

(3)

新聞、テレビではほとんど報じられなくなった新型コロナ。道内の感染者総数は、10月27日-11月2日の週から12月8日-14日の週まで7週連続して全国最多となっています。

まだ暑さが続く8月18日-24日の週は、1指定医療機関当たりの感染者が4.38人で全国最少、道内200余りの指定医療機関の感染者総数は、全国で16番目に多い731人でした。

その後、徐々に感染者が増加していき、12月8日-14日の週は、1指定医療機関当たりの感染者3.57人、道内の全指定医療機関を合わせた感

染者総数597人のいずれも全国最多。2番目に多い東京都（255人）の2.3倍です。全国的にも突出した感染状況に一層の注意を払ってください。

3募金 総額9万6739円

10月に皆さんにご協力をいただいた3募金は、総額9万6739円でした。感謝申し上げます。内訳は次の通りです。

日赤募金40件、3万500円。赤い羽根共同募金57件、4万5230円。一円玉募金53件、2万1009円。

1月18日に新年懇親会

ヒルタウン平岸町内会の新年懇親会が、1月18日（日）午後5時から近くの焼き肉レストラン「ウェスタン」で開かれます。

年明け1月5日から参加者を募集します。参加費は、年齢、飲酒の有無などによって異なるため、各戸に配布される募集要項をご覧ください。

自転車に反則金制度

来年4月実施 最高は1万2000円

16歳以上が運転する自転車の交通違反に対する反則金制度が、来年4月1日から施行されます。道路交通法を改正し、113の交通違反に対し3000円から最高1万2000円の反則金を科すものです。

反則金は「青切符」と呼ばれ、これまでの「赤切符」が“前科”となるのに対し、「青切符」は反則金を支払えば“前科”とはなりません。

警察庁は、自転車を安全・安心に利用するための「自転車ルールブック」をホームページで公表しています。

同庁は「自転車安全利用五則」も定めています。

①車道の左側通行が原則。歩道では歩行者を優先する②交差点では信号、一時停止を守り安全確認③夜間はライトを点灯④飲酒運転は禁止⑤ヘルメット着用(努力義務)



自転車が並んで並ぶヒルタウンの駐輪場。来春からはこれまで以上にルールを守って乗ることが求められる

主な違反内容と反則金

| | |
|------------------------------|----------------|
| スマホを持って通話したり、画面を注視しながら乗る | 12,000円 |
| 駐停車禁止場所などへの自転車放置駐車 | 9,000円～11,000円 |
| 遮断機の下りた踏切への立ち入り | 7,000円 |
| 速度超過 | 6,000円～12,000円 |
| 駐停車違反 | 6,000円～9,000円 |
| 信号無視 <点滅信号を無視した場合は5,000円> | 6,000円 |
| 踏切不停止 | 6,000円 |
| 無灯火 | 5,000円 |
| 並進(2人で並んで走る)禁止違反 | 3,000円 |
| 交差点右左折方法違反 | 3,000円 |

町内会の扉をノックしませんか

この広報紙は、町内会に入っていないお宅にも配布しています。お宅も会員になりませんか。お問い合わせ、入会を希望される方は総務部長の秋山一彦さん(電話842-9378)へご連絡ください。管理事務所に入会申込書があります。



148世帯(12月20日現在・加入率52.9%)

<前号掲載時との増減 -1>



高齢者の事故防止へ
「ま・み・む・め・も」

高齢者交通安全教室が8月25日、管理棟プレールームで開かれました
=写真=

豊平区交通安全推進委員会の指導員が訪れ、住民のみなさん20人ほどを前に、交通事故に遭わないための心構えなどを短編映画を使って詳しく伝えました。

高齢者が事故に遭うのは、横断歩道以外の道路を渡る行為が一番多いと言います。「遠回りでも横断歩道を渡りましょう」と訴えました。

事故に遭わないための合言葉は「まみむめも」。「ま」は、横断歩道の手前で必ず一度「待つ」。「み」は、体ごとしっかり向けて左右を「見る(確認する)」。「む」は、無理をしない。「め」は、外出時には目立つ服装をする。「も」は、もじもじためらわず、安全を確認して渡るー。

外出時にはぜひ実践しましょう。

編集機記

12月8日午後11時15分ごろ、青森県東方沖を震源とするマグニチュード(M)7・5の地震がきました。青森県八戸市で震度6強、道内では函館市が最高の震度5強、豊平区は震度4でした。久々に大きな揺れを感じ、あらためて地震の怖さを思い知らされました。

さらに今回、初めて発表されたのが「北海道・三陸沖後発地震注意情報」。M8クラスの巨大地震が起きる可能性が相対的に高くなったというのです。それがいつ起きるのか。引き続き万全な備えが必要です。皆さん、良いお年をお迎えください。